



# 第5回

# 中原区ソーシャルデザインセンター 創出に向けた意見交換会

中原区役所まちづくり推進部企画課

令和3年12月17日(金)18時30分開会

# 次第

1. オープニング
2. おさらい
3. 第4回意見交換会のふりかえり
4. チームごとの検討
5. 次回への準備
6. 検討内容の共有
7. その他

※意見交換の際等お話しいただく場合以外はミュートをお願いします。事務局の方でミュートにさせていただく場合がありますが、御理解ください。

# 1. オープニング

## ○みんなであいさつタイム

次の3点をおひとり「30秒」でお話しいただきます。

①お名前

②中原区とのつながり

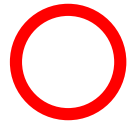
③ここぞというときに持っていくのに「おすすめの土産」

<流れ>

シンキングタイム（2分）→あいさつタイム（5分）

# おさらい

ソーシャルデザインセンターとは・・・  
地域で新しい活動や価値を生み出す基盤  
(プラットフォーム)



- ・コミュニティ活動の基盤
- ・地域主体(地域住民)
- ・資源を持ち寄る、  
自主財源を探す
- ・コミュニティの基盤  
づくりに必要なこと



- コミュニティ活動
- 行政(区役所)
- 行政からの補助金
  
- 活動場所

# いまやっていること

**ソーシャルデザインセンターの機能である地域の活動・価値を生み出すための活動を実践**

**→実践の中でソーシャルデザインセンターに必要なこと  
(機能)を探る**

# おさらい

		R3年 8月	9月	10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	
意見交換会	SDCやること (機能)検討	取組案の検討					今回	検証・機能の整理 デッサンの修正			中原区ソーシャルデザインセンター 運営開始(予定)
	SDC運営体制 検討						運営体制等の検討				
チャレンジ事業				随時実施			★ 1/21成果報告会 (予定)				

## ○実施概要

日時：11月19日 18時30分～20時10分

会場：中原区役所503会議室及びオンライン

人数：15人（会場7人、オンライン8人）

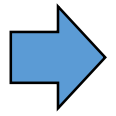
# 「NMNの活用」チーム企画書(第4回中原区SDC創出に向けた意見交換会)

## ◎企画書

企画名	<b>“超”ローカルかわら版</b>
何のために？	中原区を中心とした良好なコミュニティの実現のため ①地域のイベント告知や出来事共有・スポーツ団体の募集等による、より健康で文化的な生活の実現 ②災害時の共助
誰のために？	・情報の出し手/受け手たる、中原区在住の老若男女 ・(区域外住民であっても)イベントなどの主催者・スポーツ団体
何をやる？	・別紙参照
場所	・オンライン ・(防災の観点から)将来的にはオフラインも
役割	未定
スケジュール	未定

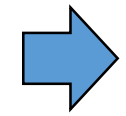


地域情報



NMN(なかはらメディアネットワーク)

<https://www.city.kawasaki.jp/nakahara/page/0000048793.html>



各メディア

【B面】

- ✓ 市民からの持込情報を主とし、NMNなど行政の情報も、広く取込
- ✓ 当該情報を、「事件事故/防災」「イベント」「お誕生/おくやみ」などカテゴリ分けして整理(のみ)
- ✓ リリース文面にはしない

(仮称)NCHub(なかはらコミュニケーションハブ)

本取り組み



広範なローカルチャンネル

- ・ITSCOM/かわさきFM/タウンニュース
- ・東急スクエアほかSCなど

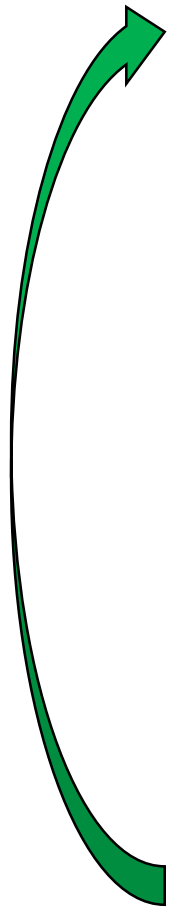
情報を共有し、紙面/報道/デジサイ利用

【A面】

- ✓ 各ローカルメディア紙面/報道内容の提供を受けて掲示
- ✓ 中原区民等が閲覧/視聴⇒イベント参加等
- ✓ 当該中原区民が市民特派員/市民記者に

(仮称)NCHub(なかはらコミュニケーションハブ)

本取り組み



## <今後検討すべき課題・論点>

### ① 市民持ち込み情報の取り扱い体制

- ✓ 情報の正確性の担保
- ✓ 個人情報/誹謗中傷などのスクリーニング
- ✓ 期待値コントロール(持ち込まれた情報すべてがメディアに掲載されるわけではない)

### ② (仮称)NC Hubの運用方法

- ✓ 設置場所・コスト・運用ルール・管理者の決定

⇒ 当面はSlackにて試運転

B面チャンネル(書込版)・A面チャンネル(掲載版)を設置

SDCメンバが自分の活動を告知、各メディア掲示内容を取得し掲載

### ③ 各メディアとのパイプ構築

- ✓ (仮称)NC Hub構想の共有、ブラッシュアップのための刷り合わせ

## <Next Action>

- ・SDCメンバへの共有
- ・Slackセット

# 「〇〇オファー、〇〇案内所」チーム企画書(第4回中原区SDC創出に向けた意見交換会)

## ◎企画書

企画名	〇〇オファー、〇〇案内所
何のために？	オンラインでコミュニティやプロジェクト紹介 / 複数のSDCを繋ぐ / 何かやりたいという人の繋ぎ役 / 何をやっていいか考え中の人も何かやっている人が触発してくれる / コミュニティ活動をしているけど困っている人 / 誰かのコミュニティやプロジェクトを支援・応援したい人(プロボノ) / 点在しているコミュニティや情報を集約 /
誰のために？	何かをやりたいけど、誰に相談すればいいかわからない人 / 街に関与したいけど関与のしかたがわからない人 / 街の情報が欲しい人 / いきなりリアルで聞くのは恥ずかしい人 / やりたいこともアドバイスしてくれる / プロボノ /
何をやる？	ディズニーランドの受付(案内所)のように街の楽しみ方(コミュニティ・プロジェクト・人・場所)を紹介 → パークの中は自由に楽しむ / 時間や曜日でテーマを決めて案内 / デジタルとアナログの融合で便利さと温かさを / 案内所に行けば全てが解決する！ / 世話役がいる / 案内の達人がいる / 案内せずに会話しちゃうだけでもO.K. /
場所	オンラインとオフラインの両方の案内所 / 24時間365日・学校や仕事の時間を避けて / オンライン(フリーアドレスの案内板 oVice) / リアルな案内板 / 電子黒板・デジタルサイネージとスマホの連携(QRコード) /
役割	プロボノの登録 / コミュニティ・プロジェクト・SDCの案内 / シンプルにメニュー案内 / リアルとオンラインで案内 / わかりやすく楽しいインターフェース / Touch & GO /
スケジュール	

# 「〇〇オファー、〇〇案内所」チーム企画書(第4回中原区SDC創出に向けた意見交換会)

ノート (自由に活用ください)

>現状

- ・市民活動センターがつなぐ役割を担っている
- ・メーリンググループ作成(区内外で活動されている方がいる)
- ・ジャンルごとにまとまる、機能を果たすためにはキーパーソンの必要性有り
- ・中心になってくれる人が重要(キャラクターなど)
- ・場所の選定が重要
- ・助成金申請(コロナ関係、業界変えらるとお金もらえる!?)
  
- ・活動してるとキーパーソンに出会えるかも! ? =アクションを起こす
- ・Facebook?(地域活動系の情報を拾う)→SDCとしてやるべきなのでは?
- ・参考:コスギの大学のマップ(講師の方の活動拠点にピンがささる)
- ・検索はインスタのハッシュタグ#
- ・やってる場所と情報が一緒に入ってくるのがほしい!(いきたい!と思ってもいける範囲じゃないことも多い)

◎企画書	健康向上 つながり	シニアの活躍 世代間交流	「まちのひろばの掛 け算」で価値を生む	デジタル活用 (手段として)
企画名				
何のために？	<p>高齢者が元気であること、健康寿命を延ばすこと                  人との交流が新たに生まれていくことが大切                  高齢者(特に男性)の社会地域参加機会を作る                  ポジティブだけでなくネガティブな人とも繋がっていけることが大事                  世代を越えた繋がりが生まれる場をつくりたい [デジタル活用は手段、その目的・動機が大切]</p>			
誰のために？	<p>地域に住む高齢者、地域に住む家族のため(親が元気であれば安心して自分たちも活動できる)                  自身の健康のためであり、家族のため                  自分のため(価値発揮の機会)、地域の人たちのため(地域の子どもたちのためにも)</p>			
何をやる？	<p>目的: 健康維持、つながりを生む、世代間交流、価値発揮・・・                  手段: 体操の場を機会として活用して                  → 案. 子どもと高齢者の交流を生む「健幸アップ体操」イベントの実施(実施に向けたアンケート)                  → 案. まちの広場との掛け算でつながりを生む「健康アップ体操」</p>			
場所	<p>こども食堂の場、区役所の会議室、企業の体育館・グラウンド、駅前サードスクエア広場、グランツリーの屋上</p>			
役割分担	「スマホ教室 × 健康体操」＝「学びと健康」		「こども食堂 × 健康体操」＝「多世代交流」	
実施スケジュール				

## ノート（自由に活用ください）

### ● 課題は？

- ・人に呼ばれて女性は参加する、男性は参加しない。男性のコミュニケーション機会は少ない。運動も少ない。
- ・高齢者だけでなく介護職員はICT活用に苦手（余計な仕事をもってきたとの思い？）

・ポジティブ人でなくネガティブな人をも拾っていくことが大事ではないか

・デジタルを使う前にその動機づくりが大事だと思う

・若い人が高齢者にデジタルの使い方を教える、高齢者が若い子供たちに生活や人生の課題を乗り越える

・オンライン体操をやっている、退職者社員向けに20名程度、10数回開催されているでも参加者が少ない

・なぜ参加者が少ないか？告知方法、ネーミング

・集客が大変、エポック中原で

・SDCへの文脈に沿って、「まちのひろばの掛け算」で価値を生む、「体操の価値、集客を高める」こと

・サキハマさん、「スマホ教室×健康体操」＝「学びと健康」

・「こども食堂×健康体操」も良い＝「多世代交流」

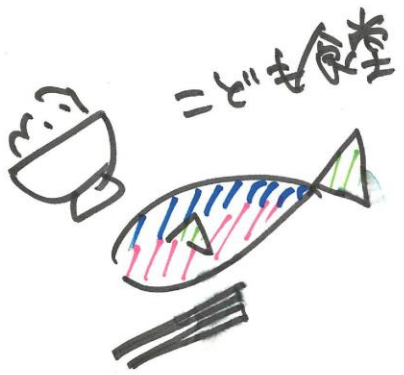
・こどもと一緒に体操するのも面白いのではないか

・高齢者との交流機会の少なさが課題としてある

ノート (自由に活用ください)

# ふるさと食堂

- ① ヨナガレ
- ② タバ子
- ③ つぶさか 生み山子

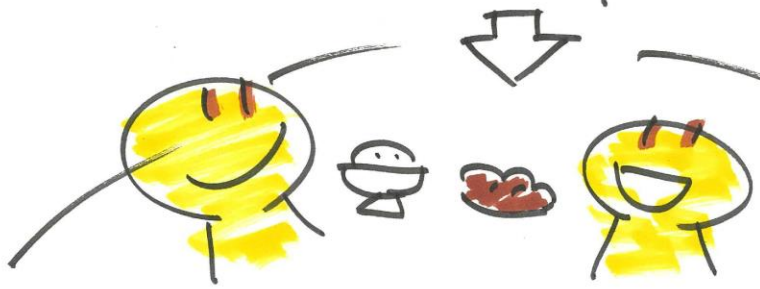


食品廃棄物"0"

HUB



大学生 インターニシティ



子どもたち

# 4. チームごとの検討

## ○本日の目的

企画案の実現に向けた検討を行う（前回の続き）

## ○プロジェクトチームによる検討のルール

- ①興味のあるチームに！（「これまで参加したグループだから…」という必要はなし）
- ②最後まで参加できなくても、途中参加もOK！
- ③実現できなくてもOK
- ④チームが解散となってもOK
- ⑤情報共有はSlackで
- ⑥区役所は今回の案内まで



# 4. チームごとの検討

## <本日の流れ (30分) >

- ・興味のあるチームを選んで参加



- ・自己紹介

「名前、所属(あれば) + 企画案で面白いと思うこと」を1人1分で

- ・進行係、記録係、発表係を決定



- ・企画書を作成

※会場参加の方が記録係の場合：会場の用紙を活用

※オンライン参加の方が記録係の場合：画面共有しながら  
資料を編集

時間の目安

10分

20分

## 4. チームごとの検討

### 意見交換のルール

- ① 批判しない
- ② 自由な意見、相乗りOK
- ③ ほかの人の話には、身振り、拍手など、  
大きなリアクションで
- ④ 今回の内容は公表します。また、出されたアイデア等は参加者全員の共有のものとしてします。

## 5. 次回への準備(5分)

<決めていただきたいこと>

①次回開催までの調整さんの決定

※調整さん：「次回いつ打合せをやりますか」の投げかけだけ  
を行う方。

②チームの連絡手段の決定（slackで問題なければslackで）

## 6. 検討内容の共有(20分)

1チーム4分で検討状況を共有

発表が終わったら大きな拍手をお願いします。

# 7. その他

○次回(第6回)意見交換会開催予定

日時：1月21日(金) 18時30分～20時30分

会場：中原区役所会議室及びオンライン

議題：成果報告会、SDC運営検討

詳細は追って御連絡します。

# 7. その他

## ○プレSDC運営検討会を開催します

日時：1月7日（金）18時30分～20時30分

会場：中原区役所会議室及びオンライン

議題：SDCの機能、SDCの創出に向けて決める必要があること 等

- ・Slackに、新しく「sdc運営意見交換」チャンネルを作りますので、「これが必要だと思う」等々これまでの活動から感じたことを投稿ください。
- ・チャンネル名の整理を併せて行いますので、ご意見ください。

# おわりに

ご不明な点やご意見、また、新しい参加者のご紹介も常時歓迎しておりますので、何かございましたら、中原区役所企画課までご連絡くださいますようお願いいたします。

今日は  
ありがとうございました

